

令和2年度における

都道府県建設業協会の災害及び防疫対応

一般社団法人 全国建設業協会

近年、台風や頻発化・局地化する豪雨などにより、全国各地で甚大な自然災害が発生しています。令和2年度においても、令和2年7月豪雨や台風第10号などにより、大きな被害がもたらされました。

また、昨年度は、鳥インフルエンザや豚熱など家畜伝染病も、全国の広い範囲で発生しました。

これら自然災害や家畜伝染病などに対し、「地域の守り手」として対応にあたった都道府県建設業協会及び会員企業の取組をご紹介します。

令和2年7月豪雨・台風第10号

(令和2年7月豪雨)

日本付近に停滞した前線の影響により、7月3日から31日にかけて、全国の広い範囲で大雨となり、特に九州地方や岐阜県周辺では、多くの地点で24時間、48時間降水量が観測史上1位を更新するなど、記録的な大雨となりました。

この大雨により、球磨川や筑後川、飛騨川、江の川、最上川といった全国各地の大河川で氾濫が相次いだほか、土砂災害、低地の浸水等により、多くの人的・物的被害が発生しました。

(台風第10号)

8月31日に小笠原近海で発生した台風第10号は、九州地方の西側の海上を北上しました。



令和2年7月豪雨
球磨川堤防決壊箇所の様子（熊本県建設業協会）



令和2年7月豪雨
球磨川堤防の復旧（熊本県建設業協会）



令和2年7月豪雨 昼夜を問わず行われた球磨川堤防の復旧
(熊本県建設業協会)



令和2年7月豪雨
国道41号線の崩落の様子 (岐阜県建設業協会)



令和2年7月豪雨
濁流そばで行われた国道41号線の復旧 (岐阜県建設業協会)



令和2年7月豪雨
道路の応急復旧 (岐阜県建設業協会)



令和2年7月豪雨
夜間も行われた道路の応急復旧 (岐阜県建設業協会)

この台風の接近に伴い、宮崎県では県内4地点で24時間降水量が400mmを超えたほか、台風
の中心から離れた西日本や東日本の太平洋側の地域でも24時間降水量が200mmを超えるなど、
大雨や暴風により多くの被害が発生しました。

各建設業協会と会員企業は、災害への迅速かつ的確な対応を目的に国や都道府県等と締結して
いる災害協定に基づき、河川決壊箇所の復旧や道路啓開、資機材の支援などを実施しました。

令和2年12月から令和3年2月にかけての大雪

強い冬の気圧配置が続いた影響により、令和2年12月から令和3年2月にかけて、日本海側
の地域を中心に広い範囲で記録的な大雪となりました。特に群馬県みなかみ町藤原では、48時
間降雪量が199cmとなり、歴代全国1位を更新しました。

この大雪により令和2年12月に発生した関越自動車道の車両立ち往生に際しては、北陸地方整
備局及び新潟県からの支援要請に対し、新潟県
建設業協会及び会員企業が、立ち往生解消支援
のため除雪作業などを実施しました。

また、その他各地にもたらされた大雪に対
しても、各建設業協会と会員企業が、昼夜を問わ
ず除雪対応にあたりました。



上越市内の除雪作業
(新潟県建設業協会)



関越自動車道の除雪作業
(新潟県建設業協会)

鳥インフルエンザ及び豚熱における防疫支援活動

令和2年度の高病原性鳥インフルエンザの発生は、11月に1例目が確認されて以降、特に西日
本や関東地方を中心に急増。3月末までに18県、52の養鶏場などで確認され、殺処分数は過去

最多の約1千万羽となりました。

また、近年感染地域の拡大が続いている豚熱は、令和2年度に5県で発生し、約1.5万頭が殺処分されました。令和3年度も、4月だけで既に3県の農場で豚熱の発生が確認されています。

このような状況の中、各建設業協会の会員企業は、迅速かつ円滑な防疫対応確保のために都道府県と締結している防疫協定に基づき、殺処分された鳥や豚の埋却溝の掘削や埋却作業などを、昼夜を問わず実施しました。



鳥インフルエンザの埋却溝掘削作業
(千葉県建設業協会)



鳥インフルエンザの埋却作業
(千葉県建設業協会)



豚熱の埋却作業
(群馬県建設業協会)



昼夜を問わず行われた豚熱の埋却溝掘削作業
(群馬県建設業協会)